

【議題1：資料】死因究明等推進に係る現状について

テーマ	①人材育成及び資質の向上について	
質問	(1)令和4年度、貴団体にて(又は他団体と協力して)実施中又は実施した取り組みを、出来る限り詳しく教えてください。 (例)死体所見から死因を推定できたり、客観的な検案記録を記載できたりするような法医学的知識を身につけた臨床医の育成を目的とした研修会を、年1回開催している。	(2)課題及び他団体と協力して実施したい取り組み案があれば、教えてください。 (例)左記の研修会は、〇〇団体も参加できる内容なので、是非参加してほしい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(AI)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。ただし、コロナ禍においてはWEBでの開催となっている。年1回の「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会は、WEBで開催された。	研修会や講演会を開催するための費用がなく、地域での人材育成が困難である。死体検案を行う医師の身分保障や報酬が未だに明らかでなく、今後新たな医師が参加できる状況にない。
香川県歯科医師会	令和5年2月5日に岩手医大法歯学災害口腔医学分野・熊谷准教授を講師とした身元確認研修会を開催した。本会会員および愛媛・徳島歯科医師会会員、香川県医師会、香川県警、海上保安部等106名が受講した。	本会会員の身元確認作業の正確性向上と会員間の技術的レベルアップをさらに図りたい。なお身元確認研修会は毎年必ず開催しているので参加希望者はお申し出いただきたい。
香川県警察本部	○毎年度、人事異動後早期に、検視現場で実働の中核となる警察官を対象とした専科を実施している。同専科では、犯罪性の見極めのほか、香川大学医学部法医学教室、県医師会及び県歯科医師会等から講師を招聘し、死因究明に資する専門的知識について教養していただいている。 ○毎年度(コロナ前)、数回、兵庫県監察医務室にて香川大学医学部法医学教室木下教授指導の下、検案や解剖の実地研修を行っている。 ○随時、県医師会や歯科医師会が開催する研修会に参加している。 ○警察本部検視係において、警察署捜査員に対し現場指導を行っている。	
香川大学医学部法医学	日本医師会の死体検案研修会の企画、講師派遣。受講者の見学実習受け入れ。警察庁警察大学校の法医専門研究科への講師派遣、大学研修受け入れ。近畿管区警察学校の検視実務専科への講師派遣。香川県警の検視実務専科への講師派遣。海上保安庁の研修生受け入れ(科目履修生)。郡市医師会の依頼による講師派遣。検察事務官、司法修習生対象の講義への講師派遣。他大学への非常勤講師の派遣。死因究明拠点整備モデル事業(薬毒物検査拠点モデル事業)(岡山・香川薬毒物分析コンソーシアム)。	医師を対象とした研修会では、新規の参加者が少ないこと。
第六管区海上保安本部	法医学研修生として、年間1～2名を香川大学等の法医学教室に受け入れていただき、半年間の研修を受けさせている。また歯科医師会が実施している研修会にも積極的に参加している。	検視能力向上のため、団体、医師会、警察が実施する研修会があれば参加させたい。
高松地方検察庁	特になし。	特になし。
香川県医師会警察医会	死因究明拠点モデル事業(薬毒物検査拠点モデル事業)に参加し、検査機関に検体を提供している。	CDR(予防のための子どもの死亡検証)事業に協力割いている。
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同内容。	香川県歯科医師会と同内容。
香川県健康福祉部	・香川大学の木下教授(医学部法医学教室)を講師にお招きし、在宅医療時の死亡診断に係る死亡診断書の作成方法や死亡診断における留意点について、医療従事者を対象とした研修を実施。 ・一般県民を対象に、「人生の最期をどのように迎えるか」をテーマとした「人生会議」の講演会を開催し、自らの望みを家族やかかりつけ医とあらかじめ共有することの重要性等について啓発を実施。	・医療従事者や県民において、死因究明の必要性の認識が進むよう、各団体が実施する研修会について、後援や対象者への呼びかけ等を行いたい。

テーマ	②検案及び解剖等の実施体制の強化(資材の確保及び設備の増強)について	
質問	(1) 令和4年度、貴団体に(又は他団体と協力して)行っている又は行った取組みがあれば、出来る限り詳しく教えてください。 (例)災害時における「身元確認マニュアル」を策定し、身元確認時の留意点などをまとめている。同マニュアルに基づいた内容の訓練を〇〇団体と協力して実施している。	(2) 課題及び他団体と協力して実施したい取組み案があれば、教えてください。 (例)有事に備えるために、日頃から関係機関の連携を図る機会を増やしたい。
香川県医師会	日本医師会が主催して死体検案研修会(基礎)、(上級)を行っており、参加を呼び掛けている。日本医師会が主催して死亡時画像診断(Ai)研修会を行っており、参加を呼び掛けている。ただし、コロナ禍のためWEBでの開催となっている。年1回の「警察に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会および学術総会もコロナ禍で、WEB開催となった。	県民に対しての死因究明の重要性の啓蒙は重要であり、各団体で市民に向けた公開講座等が開催される際に広報をさせていただきたい。
香川県歯科医師会	平成26年に災害対策マニュアルを作成、その後平成29年には改訂版を発行したが、今年度新たに「大規模災害発生時における身元確認」2022版を作成した。今後県内11郡市歯科医師会で講習会を実施する予定となっている。	身元確認研修会は毎年実施しているが会員の中にはまだ未受講なものもいるのが現状である。香歯警会員は必ず1度は受講するよう指導していきたい。
香川県警察本部	○超高齢化社会の到来を控え、孤独死や異常死の増加が予想されることから、毎年度、装備資機材の拡充や解剖に係る費用の獲得に向け予算要求をしている。 ○離島等、警察本部検視係が速やかに臨場できない検視現場において、高性能映像伝送装置を使用し、死体所見の確認等を行っている。 ○検案医師の負担の軽減と、より多くの医師に検案していただけるよう、特に夜間や休日の検視について検案を翌昼間帯とし、翌昼間帯においても的確に行えるよう、死体保存用冷蔵庫配備に向け予算要求をしている。	
香川大学医学部法医学	研究室に保有していない機材は、香川県警の機材(装置)を借用することがある。(ポータブルX線装置など)死因究明拠点整備モデル事業(薬毒物検査拠点モデル事業)(岡山・香川薬毒物分析コンソーシアム:岡山大学大学院、川崎医科大学)。	新型コロナウイルス等感染症への対応として、解剖室の陰圧空調など感染防御対策が十分ではないが、すぐの改善が難しいこと。
第六管区海上保安本部	特になし。	特になし。
高松地方検察庁	特になし。	特になし。
香川県医師会警察医会		
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同意見。	香川県歯科医師会と同意見。
香川県健康福祉部	・国の補助事業を活用した、死因究明のための施設や整備の設備等を行う医療施設の事業に対する財政的支援。 ・令和5年度政府予算等に関する政策提案・要望において、「疾病の予防・治療をはじめとする公衆衛生の向上・増進に必要な解剖や死亡時画像診断がすべて実施されるよう、異状死死因究明等支援事業を全額国費とするなど、財政上の支援を拡充する」よう、新たに厚生労働省に要望した。	・香川県警察本部や香川大学法医学教室が実施する研修会などの取組等について、ご提供いただき、ホームページ等により、県民に対して広く普及啓発を図りたい。

テーマ	③その他	
質問	(1)協議会で話し合いたい内容があれば教えてください。(今回の協議会に限らない。)	(2)左記テーマに関わらず、ご意見等があれば教えてください。
香川県医師会	各団体で経験した重大な事案について、共有すべきものがあれば、持ち寄って協議し、資質の向上を図る。また、香川県の特色を生かして取り組むべきテーマを協議する。特に、チャイルドデスレビュー(CDR)について、本協議会でサポートできる事柄を検討する。	
香川県歯科医師会	大規模災害対策訓練の実施を希望する。	
香川県警察本部		
香川大学医学部法医学	死因究明拠点整備モデル事業(薬毒物検査拠点モデル事業)について。	特になし。
第六管区海上保安本部	特になし。	特になし。
高松地方検察庁	特になし。	特になし。
香川県医師会警察医会		
香川県歯科医師会警察歯科医会	香川県歯科医師会と同意見。	
香川県健康福祉部	・死因究明に係る人材や財源確保等の様々な課題について、継続して協議していきたい。	・協議会であげられた課題を基に、委員の方々と相談しながら、実効性のある施策の実施を検討していきたい。